

主な活動実績（パンフレット掲載以降）

2006年（平成18年）

- 2月 福岡県地域おこし研修・交流会（第4回）を担当
地域住民と大学が協同して地域おこしに取り組んでいる筑豊ゼミの活動を、福岡県下の地域おこし団体に紹介し、大学の持つ頭脳や施設などの資源を地域おこし活動に如何に活用するかを、シンポジウム形式で研修
- 12月 シンポジウム 筑豊のまちづくりを考える～飯塚市を中心とする交通体系のあり方をめぐって～を主催 【北部九州圏都市交通計画協議会委託】
全国的に地方中心都市の衰退が顕著になる中で、バス等の公共交通機関の果たす役割は大きい。嘉飯地区を例にとり、行政・自治会・交通機関・大学などの関係者が集い、地域交通のあり方をめぐって討議

2007年（平成19年）

- 2月 「石炭文化遺産を未来につなぐシンポジウム」を開催
筑豊の石炭関係博物館が連携して、石炭産業遺産を筑豊地域の観光、教育、地域おこしに活用する目的で実施
- 3月 平成18年中より準備、申請中だったセンターの特定非営利活動法人化が実現。3月16日 『NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター』として福岡県より認証さる
- 10月 内閣府全国都市再生モデル調査（担当国土交通省九州地方整備局）【多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通支援情報センター実現にむけた実証的調査】を受託・実施
- 11月 上記調査の一環として「地域交通問題懇談会」を立ち上げ、地域住民の地域の交通に対する考えを聴取、懇談・・・延べ5回開催

2008年（平成20年）

- 2月 上記調査の一環としてシンポジウムを開催
「みんなで考えよう！住民の『あし』の問題を～多様なタイプの交通資源を活用し、交通弱者のない活気ある地域づくりを目指して～

福岡県より【嘉飯地域における地域資源活用方策の調査・研究】を受託・調査を実施（2009年1月契約）

2009年（平成21年）

- 6月 上記調査の関連【嘉飯地域活性化構想及び地域活性化プロジェクト実施計画策定のための調査・研究】を受託契約・調査を実施

2010年（平成22年）

- 9月 筑豊の語り部 深町純亮氏の「筑豊学」講座を開講